

バラムィギン露日協会ヤクーツク支部長への日本国外務大臣表彰の授与

10月27日、ヤクーツクを訪問中の古田総領事は、令和2年度に日本国外務大臣表彰の授与が決まったバラムィギン露日協会ヤクーツク支部長への表彰状伝達式を行いました。

伝達式はサハ共和国政府の協力により執り行われ、バラムィギン氏、古田総領事の他、同国政府関係者、露日協会の会員等が同式に参加し、同人の受賞を祝福しました。

バラムィギン氏は、35年以上に亘り日本とサハ共和国の間の経済、文化等の分野における協力の発展にご尽力なさいました。

同氏は、サハ共和国に日本文化を紹介するために様々なイベントの企画に携わってこられました。最近の例では、2018年、ヤクーツク市日本観光・文化フェスティバル「祭り」行い、参加者が3000人を超える大成功の日本文化イベントとなりました。

経済分野においては、同氏は駐日サハ共和国代表部において副代表、代表を務められ、石油ガス分野におけるサハ共和国と我が国との共同事業の実現やサハ共和国の石油関連企業職員の日本研修の実施支援等に取り組み、両国関係発展に携わりました。

また同氏はサハ共和国対外関係省第一次官として、2005年に日本で行われた万国博覧会における目玉としてサハ共和国から運び込まれた展示品である「ユカギル・マンモス」の実現に積極的に貢献なさいました。

在ハバロフスク日本国総領事館として、この度のバラムィギン氏の外務大臣表彰受賞を心からお祝いするとともに、今後の一層のご活躍をお祈りします。

